



広報 ふらの の え

九重しよっとこおどりのみなさん
九重ふるさと祭りから(8ページ関連記事)



もくじ

100人会議意見交換.....	2	雄肥センター/元気会社.....	15
子どもたちの未来と市町村合併...	3	図書館だより.....	16
町づくり会議意見書.....	4	1日種蒔体験/話し方大会.....	17
ここくす食材探検隊.....	6	まちの話題/交通.....	18
第8回ふるさと祭り.....	8	くらしの情報.....	20
平成13年度まちの家計簿.....	10	心の扉/休日当番.....	22
保健福祉.....	12	歳時記/ふるさと再発見.....	23
環境/こちら119.....	13	人の動きふれあいタイム.....	24
教育委員会だより.....	14		

アメとかで計算できない夢を問いたい

一〇〇人会議が久住町のみなさんと意見交換



▲久住町から参加したみなさん



「市町村合併を考える一〇〇人会議」（代表 日野蘭郎さん）のみなさんが、11月12日、久住町の住民のみなさんとの意見交換会を行いました。久住町役場で行われたこの日の意見交換会に参加したのは、両町から8名ずつ。まず、本郷久住町長が「久住町は竹田市などとの1市3町の合併パターンを県から示されていたが、町の自主的な取り組みの中で新しいパターンを考えても良いのではないかと考えていた。久住と九重は似たところが多い。間に山があるということでは交通が不便という考えが確かにあるが、かえっておもしろいのではないかと思う。」とした上で、従来の町名を残し、それぞれの旧町に自治権を残すミニ合衆国制をいってみて、という構想を交えたあいさつがありました。

その後、久住町長が退席、両町の概要、これまでの経過の説明があった後、両町のみなさんによる懇談に入りました。

懇談では、お互いに興の示したパターンでは、後世に良いものが残されるだろうか、という疑問を持っていた点で一致し、今後くじゅう連山周辺の住民同士が手を取り合い、新しいまちづくりについての話を進めていくことになりました。



久住町は、こんな町

人口4,971人 1,756世帯（14年10月末現在）

総面積142.69km²

主な産業は、農業と観光で、特に観光の伸びは、著しく平成13年度の観光客数は230万。昭和60年から比べると10倍の伸びです。また、県内有数の豊後牛の産地でもあります。

《主な観光地》

くじゅう花公園、久住さやか、地ビール村、ガンジーハウス、星ふる館、レゾナイトクラブくじゅう

《一村一品》

夏秋トマト、花き（リンドウ）、久住高原みそ、豊後牛、しいたけ、生ハム

●九重町庁舎から久住町庁舎まで約1時間。飯田長者原から久住町庁舎まで約30分。



▲100人会議のみなさん

玖珠町の住民のみなさんとも意見交換～100人会議

11月26日には、一〇〇人会議による玖珠町住民のみなさんとの意見交換会も行われました。場所は九重町役場。「タイムリミットに間に合わせ、市制に移行することの最大のメリットは、行政組織の改善が出来る、縦割り行政からの脱却ができる」という「25年、50年といった長い目で見たとき、観光を考えた合併は理解できる。しかし、5年、10年という短い視野で見ると、住民の生活はどうなるのか、といったことも考えなければならぬ」といった意見が玖珠町の住民のみなさんから出ていました。このほかにも合併議論を通じてまちづくりのあり方などについても活発に意見交換が行われていました。

会議では、今後も両町の住民が協力し、悔いのない合併のために努力していくことを確認、年明けにもフォーラムを開催するなどして、議論を深めていくことで一致しました。



子どもたちの未来と市町村合併を考える集い

九重町PTA連合会と町長の対話を通じて市町村合併を考える集いが11月18日夜、九重文化センターで行われました。

この日参加したPTAのみなさんは、約280名。まず九重町PTA連合会会長の河野浩治さん(西)が、市町村合併の大まかな考え方を交えながら「私たちは九重町の中核を成す世代、これを機に合併問題、そして九重町の未来を真剣に考えてもらいたい」とあいさつ。引き続き町長より取り組みの状況と今後の課題について説明がありました。その後の質疑では、「将来の姿が見えてこないの、住民の判断が難しいのでは」や「(17年3月の)期限に間に合わなくても良いので、十分議論してほしい」、「九重町が力を入れている教育や文化事業が、合併をして水準が落ちるようなことがあったらもったいない」といった意見が出されました。

終了後、参加者のみなさんにアンケートをとりましたが、この問題について、約60%の人が今後もPTAによる集いを開いてもらいたいと回答、関心の高さが伺えました。

その他アンケート集計結果(抜粋)は、次のとおりです。



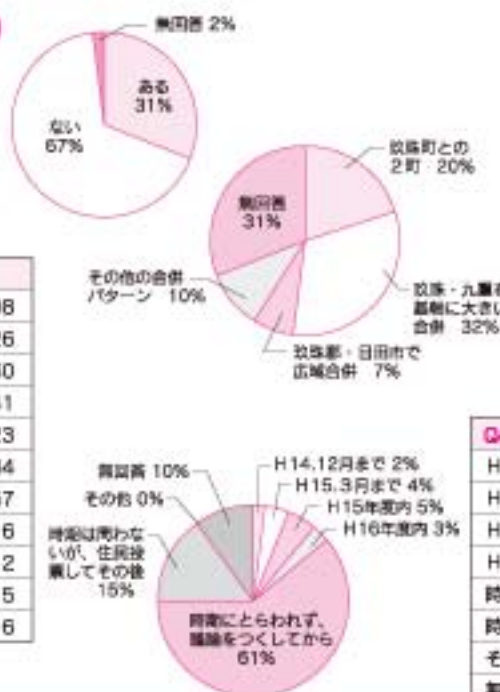
アンケート集計 (全回答数/241名)

Q1 行政懇談会に参加したことがありますか?

あ る	75
な い	162
無回答	4

Q2 合併する場合不安とを感じるもの(重複回答)

地域の個性などが失われるから	98
サービスが低下するから	126
税増が激しくなる可能性があるから	60
教育施設が統廃合される可能性があるから	141
現在の市町村がなくなってしまふから	23
今までのスタンスが変わってしまうから	84
合併先の思いどおりになりそうだから	57
不安はない	6
わからない	12
その他	15
無回答	6



Q3 合併の賛否の変化	参加前	参加後
合併は今すぐ必要である	7	11
合併はいずれ必要である	119	145
必要ではない	67	41
わからない	41	30
無回答	7	14

Q4 合併のパターンは?	
玖珠町との2町	48
玖珠・九重を基軸に大きい合併	78
玖珠部・日田市で広域合併	17
その他の合併パターン	23
無回答	75

Q4 合併の決定の時期	
H14年12月まで	6
H15年3月まで	9
H15年度内	11
H16年度内	7
時期にとらわれず、議論をつくしてから	147
時期は関係ないが、住民投票してその後	35
その他	1
無回答	25

自由意見から

- 12月、1月に全体の結論を出すのは、まだ早すぎる気がしてならない。(男性)
- 次回は子どもたちの未来についても議論の大きな柱になることを期待する。教育の町・九重町であり続けてほしい。(男性)
- 九重町の今のまちづくりが好きです。合併により崩れてしまうのが嫌で合併問題の集いは何回か開催し、その上で納得してから実施した方がよい。(女性)
- 「集いのアンケート」だけでなく、もっと地区の公民館などを昔のように活動させ広く深く考えるべきだ!(女性)
- 合併しないメリットをもっと考えるべき!(男性)
- 他町の借金を抱え込むのは困ります。(女性)
- 合併する必要もないのに、しようとする行政が将来の町のあり方などを本当に考えているのか不安に感じる。(女性)
- 自分も九重町民の一人であることをもう少し自覚し、少しでも九重町が発展する方向を考えなくては、と思いました。(女性)

- 町民である以上、当然参加しなければならない問題だと思っていました。私たちが子ども達のためにもっと真剣に声をあげなければいけないと感じました。(女性)
- 時代の流れに従っていくべきだと思います。私は早くこの町と合併になるのか知りたいです。(女性)
- この会で終わりでなく、これが始まりであってほしいと思います。(女性)
- 乳幼児等を持つ人も対象にこの集いを開くのであれば、「託児所」を設けてください。少子化が進んでそれも原因の一つとして市町村合併の話があるのなら、子どもを育てやすい環境づくりの方が先だと思います。(女性)
- ただ一回の集いのアンケート結果で町民の意見、PTAの意見のように判断してほしくない。予想されるビジョンでかまわないので、メリット・デメリットを含め、町民に知らせてほしい。(女性)

町民が考える九重町づくり会議（12名）が市町村合併に関する意見書を12月3日、町長へ提出しました。

町づくり会議は、町長の諮問機関として町政に対する意見や提言を行うもので、市町村合併についても今年7月以来、審議を重ねてきました。また20代から40代の若年層に対する独自のアンケート調査などを実施、その結果を基に今回の意見書をまとめました。

座長の甲斐素純さんは、「審議の際、様々な意見が続出、これを統一したものにまとめるのに苦労しました。今後は、（合併特例法期限延期の動き等）国などの状況を見守りながら、町づくり会議としても引き続き注意深く検証していきたいと考えています」と話していました。

意見書を受け取った町長は、「町民の民意を反映すべく、この意見書についても中身を十分検討した上で、意見を尊重し、結論を出したい」と述べました。

町づくり会議のみなさんからも「合併問題は、勉強をすればするほど、大きな問題だと感じました。自分たちの愛するこの町をいかに良い形で残すか、という思いを込めて検討を進めてきました」とや「アンケート実施などを通じて、みんな無関心であるということは決してないというのがわかりました。最終的には、町がさらに羽ばたければいいと思います。そういった、いきいきとした町（市）が早くできないかなあ、と待ち遠しく思っています」といった意見も出ていました。

市町村合併に関する意見書

私たち「町づくり会議」の委員12名は、委嘱を受けてよりこれまでに、九重町のよりよい町づくりのため、あるいは市町村合併問題に関しても町役場職員のご協力を得て、微力ながら学習を重ねてきました。

その中で、本年9月には、若い世代（20歳代～40歳代）を対象に合併問題に対する住民意向調査を行ってきました。これは、以前実施した「行政区懇談会」の折に行ったアンケート調査が、比較的に年輩の方々が多かったということから、私たちの会議が独自に若い世代に限定してアンケート調査をいたしました。

（その内容・集計結果・個々の質問の分析については、添付資料をご参照下さい。→広報ここのえ11月号に掲載していますので、省略します。）

その後、同アンケート調査の集計結果をもとに、学習・検討を重ねてまいりました。それらを踏まえて、ここに私たち「町づくり会議」として慎重に討議した結果を、これまでの活動経過と共に提出いたします。

坂本町長におかれましては、今後も私たちの愛する九重町の将来に、明るい希望が持てるような町づくりをめざして、健康にご留意されつつ更なるリーダーシップのもと、町政の発展にご尽力下さいますよう、お願いいたします。

（1）合併の必要性について

国の大きな流れの中で、市町村合併はさけて通れない現実問題として、真正面から取り組むべき最優先課題です。私たち「町づくり会議」は、「合併は必要だ。」と考えます。

これまで私たちは、市町村合併特例法に見る「アメとムチ」玖珠九重両町における財政状況と将来推計、両町の歳入・歳出の決算状況・県下の財政力指数などの各種データ表など、多くの資料を学習し、有識者の意見を聞いてきました。

今回のアンケートでは、「必要ではない。」（40.6%）が、「必要だ。」（23.3%）を大きく上回っていますが、「どちらとも言えない」（37.4%）と答えた人が多かったのが気になります。

この「どちらとも言えない」と、判断できずにいた人々の数値が多かったのは、合併の可否を、あるいはパターンを、客観的に判断・比較するだけの材料・情報がなかった為であると思われます。もう少し合併のメリット・デメリットを含めた具体的情報が得られていれば、また違った数値が出たと思われます。

調査の対象となった住民のみなさんとは異なり、今回ある程度の学習を重ねてきた私たちは、これらの現実と事情を考える時、「合併あり」と考えます。



(2)合併に関する情報源について



テレビや新聞などのマスコミでは、合併についてごく基本的なことのみの情報に限られ、具体的な資料や数値は示されていません。

アンケートの意見を見ると、住民座談会のみではなく、各種の方法手段を通じて住民の意見を充分吸い上げてほしい。まだまだ情報の提供が不足であるといった意見が多くありました。九重町は他の市町村に比して、確かに広報「このえ」を通じて合併問題をかなり詳しく、頻繁に情報提供していると思います。

しかし、全戸配布する広報であっても、若い働き盛りの世代だと、日々の生活と子育てに追われ、それを読まないことも有り得ます。

アンケートの意見にもありましたが、合併に伴う「メリット・デメリット」を含めた具体的な数値、合併の可能性のある市町村の資料は、全戸配布の資料としては、未だ、なされていません。このような中で合併の可否や合併パターンを選択させたことには、それなりの限界があります。

本来であれば、野津町が実施しているような、臼杵市と大野郡との両方の任意協議会のような方策、つまり玖珠町のみの任意協議会だけではなく、同時に玖珠・九重・湯布院の3町任意協議会、又は直入・久住など入れた6町の任意協議会、又は研究会を複数的に設定すべきでした。そして、それらの調査研究成果を逐次町民に情報提供すべきでした。できれば、今からでもせめて町役場職員で構成した「市町村合併研究会」の調査研究成果報告（平成14年3月26日報告）を、一つの参考資料として全戸配布してはどうかと考えます。

(3)合併パターンについて

九重町にとって、どこと合併するのが最もふさわしいかについては、「町づくり会議」の委員の中でも意見が分かれました。

「玖珠との合併」という意見。「湯布院を含めた3町合併」という意見が3対7の割合でした。

水系と同じで、大きな時代の流れとして、「今後も日田方面と結びつくであろう」という意見や、「将来に希望を託した6町合併では、くじゅう連山があまりに大きすぎ、いっきに合併となると現実ばなれしている」（あまりに当初のリスクが大きすぎる）とする意見が出されました。

若い世代は、玖珠町との経済圏、あるいは日常生活面など、現実的には玖珠町と一体的に行動しており、違和感はありません。合併パターンについてのアンケートでは、「玖珠町との2町合併」が41.9%で最も多かったのは、これらの実質を踏まえた現実的対応を望んでいるということです。合併等で行政のシステムが変更しても、急激な変化を望んでいません。つまり、自分達の身丈にあった合併を望んでいるようです。

しかし、2町のみでの合併では、種々の面で将来にわたって玖珠町側にキャスティングボードを握られる可能性が大であり、あらゆる面で、中心が玖珠へ行くことになります。2町のみだと、あまりに両者の単純比較という悪い面が強調されがちで、足の引っ張り合いになる可能性が大いにあります。

この合併を機に、湯布院町という新たな血とエネルギーを注入し、観光と農業を中心とした市政づくりを目指していただきたい。わが町が有する九重高原の雄大さと、湯布院の持つ温泉を中心とする癒しの町づくり、地域興しのエネルギーを注入し、これらの町を訪れる観光客に農産物の地産地消を行えば、町にもっと活力が生まれると考えます。

また、九重町・湯布院町も筑後川と大分川の源流地域にあり、これからの環境問題を考える時、大きな意味を持つてくると考えられます。源流の里として、環境クリーンエネルギーについても十分に配慮した市政づくりを行い、くじゅうの大自然と共にそれらをアピールすべきです。

このようなことから私たち「町づくり会議」としては、玖珠・湯布院を含む3町合併が、最もベストの合併であると考えます。



【広報このえ編集部より】

意見書では、このあと、(4)その他の項を設けており、「住民投票について」と「合併特例法の期限延期を要望すること」についてふれています。

住民投票については、行うべきではないとしています。これは、住民の理解度がバラバラで、また町を二分するおそれがあるため各種意見を十分くみ取った上で、町長のリーダーシップで結論を出すべきとしています。

合併特例法の期限延期の要望については、住民の関心が高まっているものの情報不足であるとし、時間があまりになさすぎる、かといって国の期限を無視するわけにもいかない、せめてあと2年の期限延長があれば、としています。

最後に「町民全てが自分たちの意見で、町の将来を決めたと、子ども達に誇れるような、適切な判断を我々は願っております。」という言葉でこの意見書は終わっています。

ほんとうにおいしいものは なんなのか

こくす食材探検隊バスツアー

食べ物に対する消費者の安全・安心志向が高まっています。それと歩調を合わせるように、地元でとれたものを地元で消費する「地産地消」や旬のものを食べる「旬産旬消」の気運が高まっています。玖珠郡内の旅館・ホテルの女将さんに地元農産物のすばらしさを再発見してもらおうと、10月9日、「こくす食材探検隊バスツアー」が行われました。今回は、紙上でそのバスツアーを再現してみました。

7

ツアーでは、まずJA玖珠九重のトマト選果場を訪問。ここは、1日8時間運転で、20トン（5000ケース）の選果ができるそうです。九重町のトマトは、約30年前から栽培が始められ、現在は、58名の部会員のみなさんにより、1100トンのトマトが出荷されているそうです。ちなみにこの選果場で、平成10年、1日7600ケースが選果された記録が残っており、これが最高記録です。



2

次に訪れたのは、東飯田にある、ナシ選果場です。九重町のナシは、80年以上前から始められており、現在は、23名の部会員のみなさんにより280トンのナシが出荷されています。この日の選果は、休みでしたが、出荷できない（味は全く問題ないが外観などで）規格外のナシがたくさん出るということを聞き、驚きの声があがっていました。「私たちもぜひ、そういったナシを利用したいと思う。お互いに情報交換できる場ができないだろうか」などの意見が出ていました。



しいたけ料理教室

3

玖珠町・良心市のあと、小平谷にある岩尾日出喜さんのギンナン園を訪れました。九重町のギンナンの作付面積は41ヘクタール。統計では、はっきりしていませんが、日本一の産地ではないかと言われています。ギンナンは、年によって出来高が大幅に変わるそうです。今年は、当たり年。当日もたくさんさんのギンナンが木の下に落ちていました。たとえば、茶碗蒸しの中に一つだけなど、ギンナンは、消費率が悪く、ぜひたくさん使ってもらえるような料理を開発してほしい、と話し合いました。



4

次に訪れた相模関の竹石信介さんのトマトハウスです。相模関は、菅原、栗原とともに町内のトマトの主な産地の一つです。トマトは、夏から秋にかけて出荷されており、今年最後のトマト（この時期のトマトが一番おいしいということ）が竹石さんのハウスにもなっていました。ここでは、消毒と肥料の問題に話が集中しました。竹石さんも消毒は、行っているものの、安全性には、非常に気を遣っており、たとえば、ハウスのビニールはUVカットのものを使う（こうするとハウスの中の紫外線が少なくなり、虫から見ると、暗く見えるようになり近寄らなくなる）などを行っています。また堆肥を使った土づくりにも力を入れています。竹石さんは、トマト部会副会長の傍ら、安全・安心のトマト作りのための技術指導も行っています。九重町のトマトは、安心して食べることができると言えます。



▲竹石信介さん

5

最後に訪れたのが、若杉鉄雄さん（口の園）のしいたけのほだ場です。この日、鉄雄さんは不在のため、代わりに奥さんの千代美さんが説明してくれました。



▲若杉千代美さん

九重町のしいたけは、1年中出荷され、原木栽培のため、日持ちがする、風味があると大変評判になっています。「私たちのしいたけづくりは、こだわり、とよく言われますが、こだわりでなく、昔からの方法が一番なので、それを行っているだけです」という千代美さんの話が印象的でした。しいたけは、完全無農薬で、安全・安心という面でも完璧な農産物です。



6

ツアー終了後、役場会議室で、女将さんとの意見交換会を行いました。女将さんからは、「わさびが作れないだろうか」や「出荷が忙しい（つまり旬の）時期だからこそ、私たちはほしい。消費者と生産者をつなぐ存在の必要性を強く感じる」などの意見が出ました。

行政からは、これから堆肥づくりに力を入れ、安全・安心の農産物が提供できる体制を作っていき、女将さんから指摘があったように、消費者と生産者をつなぎ、必要な食材が確保できる体制づくりをしていきたい。また単品種ではなく、多品種ができる農業の育成も行いたいと話がありました。

「今日のツアーで作る方も手間暇かけて作っているのがよくわかったので、いろいろな料理を考えていかなければならないと思いました」という女将さんの感想もありました。

参加したみなさんだれもがそう思ったようです。

あとは、両者をつなぐ体制づくりを急がなければなりません。



▲しいたけ
かりんとう



10月15日は、キノコの日。この日に併せて、しいたけの地産地消としいたけ料理の普及をすすめるべく、しいたけ生産者の女性料理研究グループ「どんぐり会」とホテル・旅館の女将さんが合同でしいたけ料理教室を行いました。

この日作ったのが、5メニュー。しいたけは、もちろんのこと、野菜なども全て地元から調達しました。約2時間の調理実習後、しいたけのおいしさを活かした逸品がそろいました。

そして試食会。女将さんからは、「これは、きつとお客さんに喜んでもらえます。さっそくメニューに取り入れます」などの声がかれました。試食会では、参加者のみなさんが持ってきたしいたけ料理が飛び入り参加、大変にぎやかなものになっていました。

第8回

ふるさとまつり

今年で8回目となる九重ふるさと祭りが、10月26、27日の2日間、活きいきランド一帯で行われました。例年に比べ、寒い気候でしたが、これを吹き飛ばすかのごとく元気いっぱいステージや、盛りだくさんの出店などに、訪れた人は楽しいひとときを過ごしていました。

今年バザー部門で特に目を引いたのが、APU立命館アジア太平洋大学学生のみなさんによるアジア屋台です。普段口にする機会の少ない、アジア各国のおいしい料理に訪れた人たちの人気が集まっていた。

一方ステージでもこれまで以上に充実した内容でした。毎度おなじみそっくりさんショー、今年は、森進一編です。そっくりタレントの中谷健さんの楽しいステージに会場は大きな笑いに包まれていました。さらには、姉妹都市の佐世保市より佐世保飛躍年隊による迫力のダンス。そして二日目最後のステージを飾ったのは、別府市の音楽博物館ヒットバレードクラブのみなさんによる、オールディーズメドレーです。ここでボーカルを担当するのは、佐藤美幸さん。九重町滝上出身です。地元出身と言うことで、今回のステージが実現しました。ステージ前は、若い人たちであふれ親しみやすいメロディーにのせて体を動かしていました。



ひまぐん



▲ヒットバレードクラブのみなさん





■開会行事では、九重町の振興・発展に功績のあった次のみなさんへ感謝状及び表彰状が授与されました。

三浦健二郎さん	多年にわたり、町内小中学校並びに児童生徒にスキーセット、スキーウェアを寄贈。また、役場並びに町内の事業所に防寒着用としてスキーウェアを寄贈。学校教育並びに町民福祉の向上に寄与した。
矢野 芳輝さん	多年にわたり玖珠郡建築工業組合の理事、副会長、会長、大分県技能士会理事として大工職人の育成に寄与。また、九重町商工会理事、監事、青色申告会理事等の要職を歴任、町商工業の発展と青色申告の普及推進に貢献した。
時松 澄雄さん	長年、飯田農協畜産振興会、町育種改良組合に所属し、繁殖牛6頭、育成牛1頭、子牛5頭を飼育。生産技術の向上、和牛の増頭に努力され、第8回全国和牛能力共進会で出品牛はつはる33号が優等賞5席を受賞。町畜産振興に貢献した。
平山伊津雄さん	長年、農協肉用牛部会、町育種改良組合に所属し、繁殖牛8頭、育成牛2頭、子牛7頭を飼育。生産技術の向上、和牛の増頭に努力され、第8回全国和牛能力共進会で出品牛はつづる4号が優等賞5席を受賞。町畜産振興に貢献した。
佐藤 清隆さん	長年、農協肉用牛部会、町育種改良組合に所属し、繁殖牛15頭、育成牛1頭、子牛8頭を飼育。生産技術の向上、和牛の増頭に努力され、第8回全国和牛能力共進会で出品牛きよふく9号が優等賞5席を受賞。町畜産振興に貢献した。
武石 圭介さん	多年にわたり町交通指導員として、交通安全思想の普及と交通事故防止に貢献した。
宮本智慧磨さん	多年にわたり町文化振興会議の事務局長、副会長を歴任し、芸術文化の振興に寄与した。また書道の研鑽と育成にあたり伝統文化の発展に貢献。
宝泉寺素人芝居同好会 (団体表彰)	20年にわたり、素人芝居を公演。大衆芸能の復活・継承と地域活性化に寄与。大衆文化、芸能の振興と観光振興に貢献した。

九重に宝泉寺座あり 宝泉寺素人芝居20周年

宝泉寺素人芝居が今年20周年を迎え、感謝の気持ちを込めてのチャリティー公演が10月27日、九重文化センターで行われました。当日は、超満員の大盛況。2週間でチケットがなくなったそうです。

この日は、今年の夏公演と同じ内容の3ステージのほかに、特別ゲストとして、東京で人気急上昇中の橋大五郎さんのステージを交えながらの公演でしたが、やっぱり主役は、素人芝居のみなさん。息のあった芝居のなせる技か、途中のアクシデントにも絶妙のアドリブが出るなど、会場は、大きな笑いと感動に包まれていました。座長の竹尾友彦さんは、「福岡に博多座あり、九重に宝泉寺座あり、の心意気で地域の発展にこれからも尽くしたい」と話していました。

なお、素人芝居のみなさんは、今回の収益金を後日、社会福祉協議会へ寄附しました。



お客さんの反応が来たとき、芝居をやっている一番いい瞬間です。

平成
13年度

まちの家計簿

引き続き住民のみなさんと健全な財政をめざします

九重町の経常収支比率は、81.1%（県内第5位）

九重町の公債費比率は、5.3%（県内第1位）

九重町の地方債残高は27億、基金残高は39億

歳入合計

80億44,594千円

依存財源 43億86,247千円

自主財源 36億58,347千円

地方交付税
25億75,516千円

県支出金
5億81,962千円

国庫支出金
5億50,429千円

町債
3億52,800千円

その他
3億25,540千円

町税
13億42,225千円

その他
23億16,122千円

町の財政のバロメーターとしてよく使われるのが、経常収支比率と公債費比率です。

まず経常収支比率。これは、財政の弾力性（ゆとり）を見るための指標です。

町税・地方交付税など毎年決まって入ってくる使いみちを制限されない収入に対して、（人件費、公債費、扶助費など）毎年決まって支出しなければならぬ経費の中の一般財源がどれだけ占めるかを表す数字です。この割合が低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できます。

九重町は、この経常収支比率が、県内でもトップクラスの低さ、つまり良い状態にあると言えます。

ただし、一般的に経常収支比率は、75〜80%が望ましいとされており、引き続き経費節減を行い、健全財政を目指す必要があります。

公債費比率は、その年に返済する借金の、町民税や地方交付税等の毎年決まって入ってくるお金（経常的収入）に占める割合のことです。

これは、財政運営の度合いを判断するものさしと言えます。一般的に、割合は、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされます。九重町は、

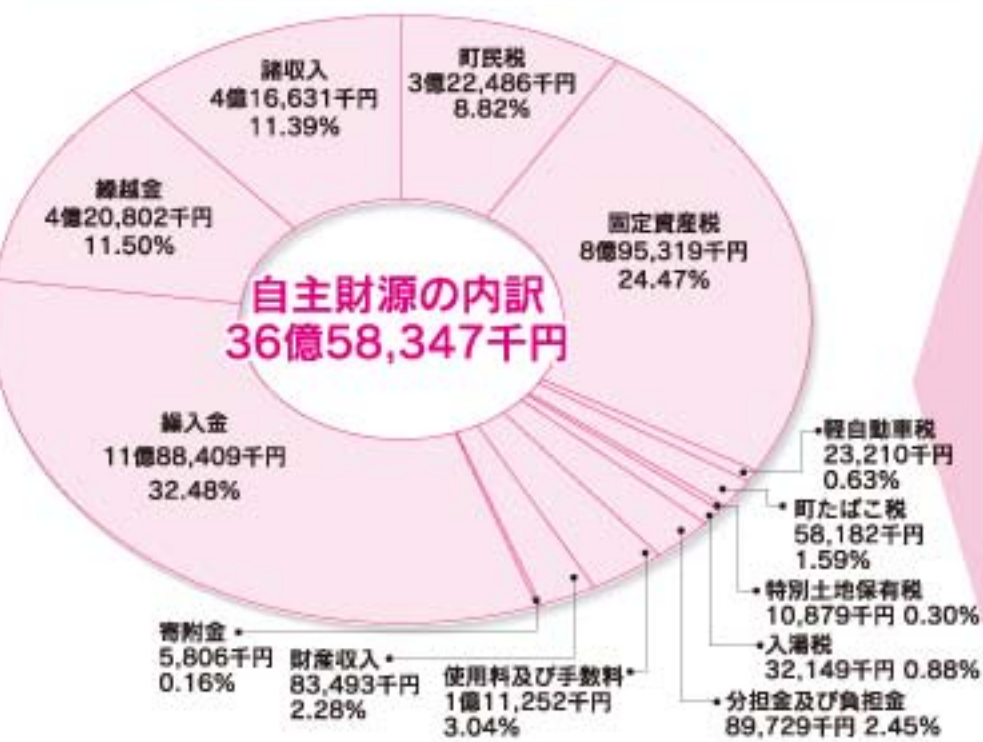
グンと低く5.3%。これは、県内で一番低い水準、つまり一番良い状態です。一方、町の貯金とも言える基金残高の標準財政規模に占める割合は、県内ではトップクラスです。

一般会計決算状況

決算規模

歳入総額は80億44,594千円、歳出総額は77億07,783千円。

平成12年度と比較して、歳入は10億58,062千円（15.1%）の増、歳出は12億72,052千円（19.8%）の増となっています。



歳入



歳入については、平成12年度の学校給食センター建設事業や町道宝泉寺栗原線道路改良事業などが平成13年度に繰り越したため、国・県支出金や町債、繰越金などが増となり決算規模が大きくなっています。

また、諸収入の増については、猪牟田ダム建設中止に伴う国からの交付金(290,053千円)によるものです。

町債の増については、繰越事業の影響もありますが、普通交付税の減額に伴う「臨時財政対策債(111,300千円)」の発行によるものです。

歳出

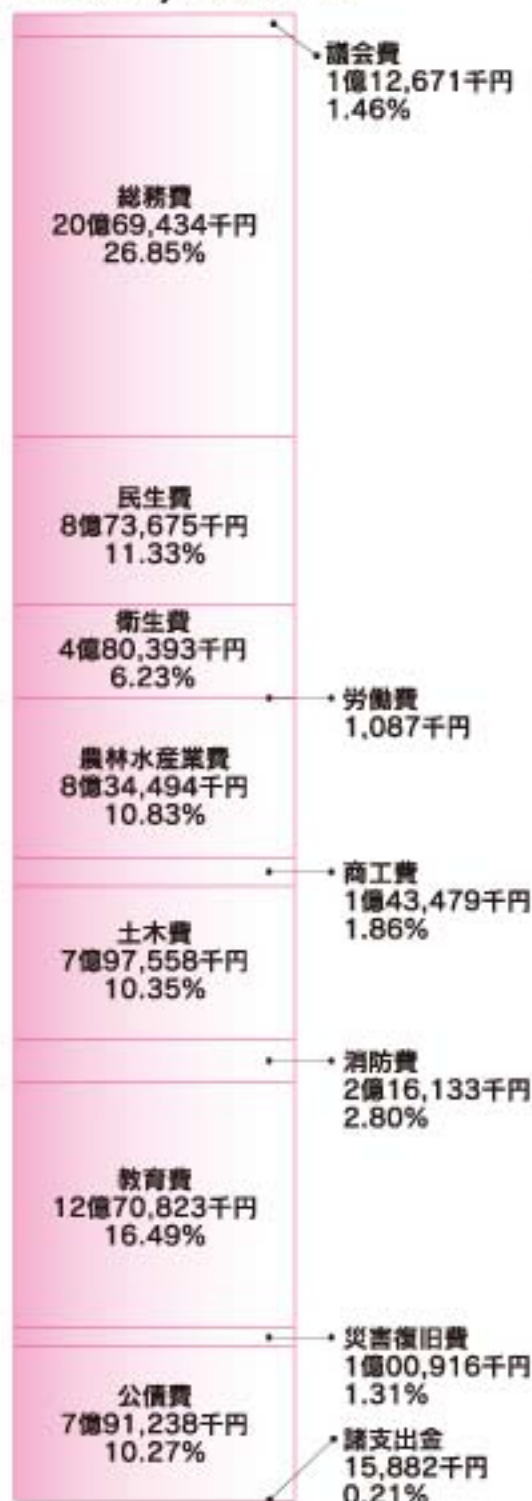
歳出決算額のうち、人件費・扶助費・公債費といった義務的経費の占める割合は31.8%となっており、平成12年度と比較して5.1%下がっています。これは、人件費が減少したこともありますが、全体的には決算額が伸びた(19.8%)ことが要因です。

また、普通建設事業・災害復旧事業などの投資的経費の割合は24.1%となっており、平成12年度と比較して、学校給食センター建設事業などの繰越事業や中村住宅建設事業の影響により6.8%の伸びとなっています。

費目別には主に、総務費が猪牟田ダム建設中止に伴う交付金をふるさと創生事業基金に積み立てたことなどにより14.2%の伸びとなっています。公債費の増は、後年度負担軽減施策として繰上償還を行ったもので16.2%の伸びとなっています。

歳出合計

77億07,783千円



特別会計

九重町の特別会計は、会計区分上6つ設置されています。これは、特定の事業を行う場合に、特定の収入をもってその事業に充て、一般会計と区分して経理する必要があるもので、国の法律、町条例等により設置されたものです。

国民健康保険特別会計

歳入 12億16,091千円

歳出 11億74,623千円

同和住宅資金貸付事業特別会計

歳入 3,014千円

歳出 3,013千円

介護保険特別会計

歳入 9億56,316千円

歳出 8億99,337千円

飯田高原診療所特別会計

歳入 87,258千円

歳出 85,088千円

水道特別会計

歳入 5億30,731千円

歳出 5億01,799千円

老人保健特別会計

歳入 15億71,323千円

歳出 15億71,323千円

用語解説

地方債：学校や道路、集会所等を建設する場合、その資金調達のために負担する債務（借金）。多額の経費が必要なものの財源に充てるための借金です。

一般財源：使いみちが特定されていない歳入（収入）で、地方税、地方交付税、地方譲与税等をいいます。

特定財源：特定の事業に使うために国、県等からの支出金及び地方債、分担金等です。

保健・福祉



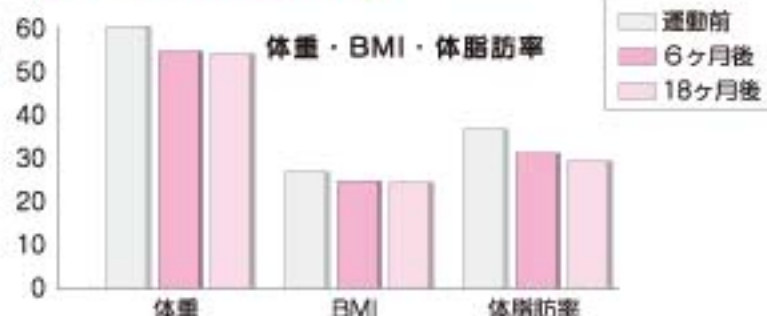
ウォーキングは、生活習慣病や老化を防いで健康効果バツグン！

健康づくりに運動は欠かせません。しかし、運動はよほど意識していないかぎり習慣化できないようです。そこでおすすめなのが、いつでもどこでも気軽にできるウォーキングです。

ウォーキングは、生活習慣病や老化を防いで健康効果バツグン。ウォーキングを中心に運動をしている教室生の6ヶ月後、18ヶ月後の結果（下図）を見てください。みなさん、歩いてみましょう。

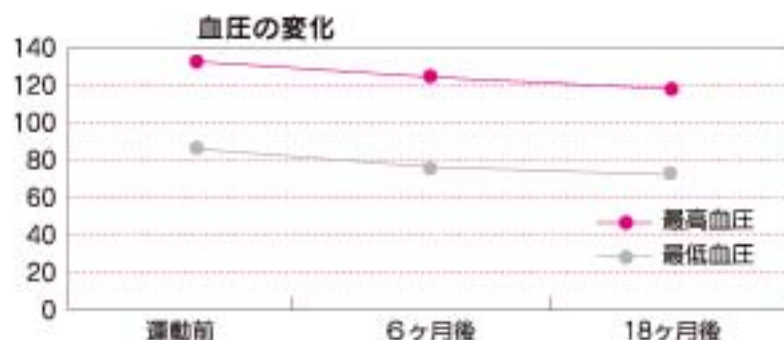
教室生の平均値の推移

運動を習慣化している教室生（BMIの高い人が対象）の体重、BMI、体脂肪率の変化です。



BMIとは、身長と体重のバランスをみるもので、次のような計算式です。22がちょうどよいです。

$$BMI = \text{体重 (kg)} \div [\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}]$$



適度なウォーキングは毛細血管を発達させ血圧を下げます。

注意！ 心臓病や高血圧、肝臓病等で治療をされている方は、運動をはじめる前に主治医に運動のしかたや注意など必ず相談してから始めましょう。

★保健センターのスマート教室や九重文化センター運動教室をご利用ください！（☎ 76-3838）

社会的ひきこもり講演会

「社会的ひきこもり」とは、一般的には、「精神障害が原因とは考えられないもので、20代後半までに始まり、6ヶ月以上自宅に引きこもって社会参加していない状態」を言います。

日時：平成15年1月21日(火)13時30分～16時

場所：大分県労働福祉会館

（ソレイユ・オアシスひろば横）カトレアの間

講演：「社会的ひきこもりの理解と援助」

講師 爽風会 佐々木病院 斎藤環先生

参加費：無料 定員350名

（定員になり次第締め切ります）

申し込み：事前にFAXあるいは電話での申し込みが必要です。

申し込み・お問い合わせ先

大分県精神保健福祉センター（ハートコムおいた）

TEL.097-541-6290 FAX.097-541-6627

健康標語を募集しています

テーマ：「健康づくり」

応募方法：作品といっしょに、住所・氏名をご記入の上、ご応募ください。

（ご持参いただくか、郵送でも可）

応募締切：平成15年1月10日（金）

応募先：保健センター

発表：採用された作品は、平成15年度の健康カレンダーに掲載いたします。

（採用された作品には粗品を進呈いたします。）



環境



12月は地球温暖化防止月間です。

★ 地球温暖化の原因

温室効果ガスは自然からも発生しますが、温暖化の原因となっているのは私たち人間の活動により発生する温室効果ガスの増加です。

発生源となる主な人間活動のうち、最大の発生源はエネルギー、つまり石油・石炭といった化石燃料の使用です。化石燃料は現在の私たちの生活から切り離せない大切な資源ですが、大量に使用される化石燃料は、同時に大量の温暖化の原因物質、特に二酸化炭素(CO₂)の発生源となっているのです。

①暖房機器を効率的に利用して、電気やガスを節約しましょう。省エネ暖房で二酸化炭素(CO₂)も削減できます。

＊ 暖房効率を良くするために工夫を・・・

＊ 部屋の暖かい空気を逃がさないようにカーテンは厚手で丈の長いものにしましょう。

＊ こたつの掛ぶとんの厚さを3cmから10cmにすると約20%の省エネに。敷ぶとんを併用するとさらに効果が大きくなります。

②蛍光灯や電気機器はこまめに消し、使わないときは主電源を切りましょう。

③できるだけ家族団らんの時間を増やし、空いた部屋の照明や冷暖房は切るようにしましょう。

④自動車の排気ガスには、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)酸性雨の原因となる窒素酸化物(NOx)が大量に含まれています。エコドライブに心がけましょう。

エネルギーのムダや地球温暖化を防ぐためにはみんなの協力が必要なんだよ

1時間短くしたら？

暖房器具の設定温度は適宜切りかえましょう



玖珠清掃センター

年末年始休業日 12月31日(火)～1月3日(金)

12月29日(日)は休業

12月28日(土)、1月4日(土)は11:30まで受付

年末年始尿くみ取りのお知らせ

年末年始休業日

12月31日(火)～1月5日(日)

12月28日(土)、29日(日)は営業

先日、発行した「年末へつなぐ私たちの環境」環境保全啓発保存版の一部に誤りがありました。
3ページ一番下

(誤) 町民一人が毎日ごみを50g
減量すると年間約2・175
kgの減量になります。

(正) 町民一人が毎日ごみを50g
減量すると年間約217・5
kgの減量になります。
町民一人が毎日ごみを50g
減量すると年間約217・5
kgの減量になります。

その他ガソリンスタンド内に提示されている注意事項を守って安全確保に努めましょう。

①給油前に自動車の窓等を閉めましょう。
②作業前に、静電気除去シートや自動車の金属部分に触れてください。
③給油作業は必ず一人で行ってください。
④給油口付近に子どもが近づかないよう注意してください。

セルフスタンドでは顧客自らがガソリン等を給油する給油取扱所で近年その数は大幅に増加しています。セルフスタンドを利用する際には一人ひとりの利用者がガソリン等の危険性を十分認識しなければなりません。特にガソリンは静電気による火花でも容易に火災になるおそれがあり、給油口のキャップを暖めた際に噴出したガソリン蒸気に引火した事例もあります。

事故の未然防止のために

こちら
11番
セルフスタンドでの
安全給油



5年生による「もち米づくり物語」

図書館まつりから宝っ子まつりへ

従来から東小の伝統行事であった図書館まつり、今年は名称を「宝っ子まつり」と変更し、昨年同様11月23日に実施しました。これは、新しい教育課程の実施に伴い、新設された総合的な学習の発表をも含んだ幅広い活動となるよう名称変更したものです。また「宝」は校区のシンボル「宝山」と「子宝」をかけたものであり、このまつりも地域と一体となった楽しい行事になるようお願いを込めて命名したものです。

さて、当日の内容を簡単に説明しますと……。

「平和と戦争」「命の大切さ」をテーマに親子共演の音楽構成詩を発表した1年生。

有名な人権文学「とべないホテル」を劇化し、「思いやり・やさしさ」をみんなに訴えた2年生。

“物より心”をテーマにし、音楽や福祉の学習で学んだ手話を取り入れた3年生の劇「アナグマのもちよりパーティー」

権利や命を大切に作る人間の生き方を歴史の学習で学び「渋染一揆」を劇化した6年生。

4年生の「メンソーレ沖縄」は、理科の教科書に新登場の“つるレイシ”（ゴーヤまたはニガウリともいう）

から沖縄に興味を示し、沖縄の方言、環境、食べ物等々本やインターネット、ゲスト・ティーチャーによって調べたことを発表しました。最後は、エイサーを踊って締めくくった総合的な学習の発表です。

5年生の「もち米づくり物語」は、田おこしから、餅つきまで、社会科・総合的な学習・PTA親子行事等幅広い取り組みを劇化し、最後は会場で餅まきまでしました。



幼稚園・“なのはな”の皆さんも初参加

前日のリハーサルではライトを浴びただけでカチンコチンの囃しも、当日はのびのびと動作化を加えての合唱ができました。餅もたくさん拾えて満足の様子でした。

地区の母親グループ“なのはな”の皆さんによるペーパースーツは子供達の心をグッと引き付けてくれました。

当日は、保護者の方はもとより子どもたちの手作りの招待状を手にした地域のお年寄りの方も多数参加くださり、会場はあふれんばかりの人で満ちました。「宝っ子まつり」終了後のPTA主催のバザーも盛況のうちに幕を閉じることができました。

このようなすばらしい発表ができるのも、20年に及ぶ「東飯田子どもまつり」の下地のお陰です。これからも「宝っ子まつり」が校区あげてのまつりになるようがんばっていききたいと思います。



3年生による「アナグマのもちよりパーティー」

環境保全型農業のシンボルに やまなみ堆肥センター開所

できあがった堆肥は、現在、堆肥センターで
売っています。

完熟堆肥 バラ 3,000円/1m³
15kg袋 500円/1袋

▲ここで堆肥の仕上がり様子。1日に4メートル半ずつ
攪拌して60日間。ほとんど無臭です。

「地域を有機の里に」。消費者の農産物への安心・安全志向が高まっています。家畜の糞尿を堆肥にし、それを地域の農作物作りに活かそうと、飯田地区の畜産農家5戸のみなさんが、やまなみ堆肥生産利用組合を結成、堆肥センターを建設しました。土着菌による堆肥づくりの技術を取り入れ、組合員のみなさんの畜舎から集められた糞尿約200頭分がここで堆肥になっていきます。1日の処理能力は、10トン。

平成16年度より家畜の糞尿を野積みすることが禁止されることと、いずれ堆肥を活かした土づくりが必要になると考えたことがきっかけとなり、このセンターは建設されました。今後、環境保全型農業のシンボルの施設になることが期待されています。

このセンターの落成式が11月12日にありました。式では、地域の有機農業の発展・普及を願い神事が行われました。その後行われた祝賀会で坂本町長は、「以前は家畜の糞尿は、

田んぼの土づくりのために全てが利用されてきたが、急速な家畜の多頭化で余るようになった。また、土壌汚染や水質汚染のチェックも厳しくなっている。その一方で、農産物の安全性が強く求められている。昔から土づくりが一番といわれた。有機農業をしていく上で、堆肥の使用が重要になる。」とした上で、「これまで、堆肥センターのような施設は、住民から敬遠されることも多かったが、ここは、匂いもなく、とても衛生的である。今後は、堆肥センターと共生し、一緒に普及を図りたい」とあいさつしました。

堆肥センターは、すでに稼働を始めていますが、今後の課題として、①販路の拡大 ②地区内の耕種農家との連携を図ることなどが急務とセンターでは話していました。

問い合わせ先 堆肥センター所長 佐藤勲さん
(携帯 090-8224-7020)

元気会社訪問



この会社は、平成4年に操業開始、電気機械部品の製作を行っており、福岡県築上郡吉富町に本社を構えています。平成9年より玖珠町に工場進出。しかし、業務拡張により、そこが手狭になり、大分銀行野上支店跡地に今年移転しました。現在約40名のみなさんが働いており、ほとんどが地元のみなさんです。ここでは、キヤノンのデジタルカメラの部品として、カメラの裏カバーとバッテリーボックスの組み立てをしています。

工場に入ってみると、ざわざわとした話し声と笑い声が。「今日は、ちょっと余裕がある日なので…」と案内をしてくれた中尾仁士課長は笑いますが、いつもこんな和気あいあいの雰囲気だそうです。「ここは、人間関係もとても良いです。毎日仕事に来るのが楽しみです」と従業員の一人は話していました。

「これまでは、急な業務拡張でなかなかできませんでしたが、みなさんに楽しんで働いてもらえるよう、福利厚生を充実していきたいです」と中尾さんは、話していました。

現在、吉富本社では約80人が働いているそうですが、すでにスペースがなく、これ以上の拡大は九重工場を軸に考えているそうです。当面10人前後の従業員を早急に増やしたいと話していました。

(有) ハイダイエレクトク九重工場 ☎77-6075

飯田地区 農業祭



今年で31回目となる飯田地区農業祭が、11月3日、JA飯田駐車場で行われました。

開会行事で、武田JA飯田組合長は「このお祭りは、1年の収穫の恵みに感謝し、みなさんの1年のご苦労に感謝するもの」とした上で、今年の飯田地区の農業を振り返り、「食の安全が今問われている。組合員と一体となり、安心の食べ物を消費者に届けたい」とあいさつしました。

また、坂本町長は「今、食の安全が求められているおり、地産地消がクローズアップされている。この地産地消には、九重町が一番向いているのではないかと述べた上で、農業・観光・商業が一体となった取り組みを期待したい、とあいさつしました。さらに、農業振興普及センター所長の吉野賢一さんも1次、2次、3次の各産業が一体化した6次産業の大切さを訴え、飯田農業に対する期待を表しました。

当日は、秋を飛び越えて一気に冬になったような寒い日でしたが、様々な催し物、おいしい食べ物に訪れた人は、楽しいひとときを過ごしていました。

図書館だより

ほんの森
12月号

図書館開館時間
平日 10:00~6:00
土・日 9:00~5:00
月・祝 休み
※年末年始(12月28日~
1月4日)と特別図書整
理日は休館します。

こんにちは!! 図書館です。

年の瀬も近づき、あわただしい季節になってきました。そんなときこそゆとりの時間をもってリフレッシュしたいもの。気分転換に読書はいかがでしょう。時間が無い、ヒマがないと敬遠されているあなた……クリスマスや年賀状のワザ本、大掃除に汚れ落としや収納の必殺本などはいかがでしょう? 年末年始のおもてなし料理の本も特集しています。

知的になまけて、ゆっくりとココロとカラダを休めてあげてください。

図書館の本から

ページをめくるだけでも楽しい
心が豊かになる本をピックアップしてみました。

「おばあちゃんがボケちゃった!」

新波道子 著 (369シ・一般書)

家族を守る主婦に降りかかった姑のボケ。義理や人情だけでは家族は大混乱に! ごく普通の主婦が、ボケ老人の愚考・行動パターンを読み、ありったけの知恵を絞って「フェイント」や「裏技」を連発。これが、悲しくもオカシくて、なかなかいい味だしています。汗と涙で「家族崩壊」をくい止めた体験談。ボケに困っている人必読の書です。

「旨い! 本格焼酎」

山岡敦子 著 (588サ・一般書)

お鍋の美味しい季節になりました。日本酒もよろしいですが、焼酎もまた◎。本書はいわゆる「焼酎ガイド本」とは一味違う趣があります。著者はソムリエ、利き酒師の資格を持つ、食と酒のジャーナリスト。副題に「匠たちの心と技にふれる旅」とあるように、人気の蔵元を訪ねての紀行文がメイン。読み物としても楽しめます。ウンチクのネタにお手にとってみませんか? 勿論、日本酒・洋酒の本もたくさんあります!

「決定版! どんどん目が良くなるマジカル・アイ」

徳永 貴久 監修 (496ド・一般書)

「3D絵本」をご存知ですか。カラフルな画面から、隠された立体画面が飛び出してくる絵本です。本書はこの技術を使った視力回復のためのトレーニング本。バランス良く目を使うことで視力が改善され、近視だけでなく、乱視・老眼にも効くといえます。テレビやビデオの見過ぎで疲れた目にも◎。お正月など、みんなでワイワイ楽しみながら視力アップも期待できます。初めて見た時には、思わず叫んでしまうかも!

「なまけることの幸せ」

ベーター・アクト他 著 (498ア・一般書)

勤勉なことで知られるドイツ人の生活を一変させたベストセラー本が世界8ヶ国に先駆けて刊行。テーマは「のんびり」と知的に「なまける」こと。いつまでも元気でいたい人、自分のライフスタイルを変えたい人、ストレスや睡眠不足から解放されたい人、スケジュール板がほしい人、運動嫌いの人、長生きしたい人、素敵に敵をとりたいたい人……必読です! この本には、知的になまけながら快適生活を送れるノウハウが100以上もバックアップされています。最近話題の「スローフード」「スローライフ」にも通じるものが! あなたに「なまける」ことの素晴らしさを伝授いたします。

「合わない枕は病気をうつくる」

奥山隆保 著 (498オ・一般書)

医学博士・整形外科医の著者が首にやさしい枕を徹底解説した本。たかが枕と侮るなかれ。適心地がいいと感じる枕には、極めて科学的な共通の法則があったのです。「ほんばら! 関口堂書店」を始め、「発掘! あるある大辞典」「特命リサーチ200X年」などでも大反響。あなたの枕は、ホントにぐっすり眠れる枕ですか?

「近藤典子の快適! 生活Gメン収納術」

近藤典子 著 (597コ・一般書)

TBSベストタイムの人気コーナーが本になりました。近藤隊長と枝豆隊員が、ガサ入れしたお宅のダメを見事に解決する、収納術とDIYの発想は発想! 生活上手になるための知恵が満載です。目からウロコの近藤マジック。年末の大掃除にその技を盗まない手はないですよ! 類似本に、関野裕子さんの収納本なども入っています!

第27回ちびっこ桜城学校ヨロン島 参加者募集

この事業は、沖縄に近い南の島、ヨロン島の青い海と美しい自然の中で仲間と助け合う楽しさを知り、在日外国人小学生と活動・生活を共にすることで言語や習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身に付ける第一歩とします。

期 間 平成15年3月28日(金)~4月3日(木)6泊7日
・期間が異なる地域がありますのでご注意ください。

場 所 鹿児島県大島郡与論島

定 員 日本人小学生400名 外国人小学生100名(3~6年生)

締 切 り 3月7日(金) (申込み先着順)

参加費 105,000円(福岡から出発の時)

資料請求・お申込み・お問い合わせ

財団法人国際青少年研修協会

(〒160-0004東京都新宿区西谷2-11大村ビル3階)

TEL.03-3359-8421 FAX.03-3354-2207

E-mail info@kskk.or.jp homepage http://www.kskk.or.jp

知識のユニバーズ「放送大学」学生募集

平成15年度第1期学部生・大学院修士科目生(4月入学)

出願期間 教養学部・大学院修士科目生

平成14年12月15日(日)~平成15年2月28日(金)

視聴方法 宇佐分室(別府大学宇佐教育研究センター、火・木・土のみ)又は大分学習センターを利用して学習します。放送大学の番組を放送しているCS放送(スカイパーフェクTV!)でも視聴学習できます。

※学費・入学等の詳細については、下記宛にお問い合わせください。

「募集要項」(無料配布中)等をご送付いたします。

資料請求・問い合わせ先 放送大学大分学習センター

〒870-0868 大分市野田380(別府大学大分キャンパス内)

TEL.097-549-6612 FAX.097-5496621

放送大学ホームページ http://www.u-air.ac.jp/hp

※現在、無料体験入学実施中です。ご希望の方は、事前にお電話ください。



野上中学校では、今年から、総合学習の一環として職場体験の授業を取り入れています。実際の仕事を体験しながら自分の生き方を考えてもらおうというものです。

この学習は、あらかじめ、生徒からアンケートをとり、働きたい職場をピックアップ（残念ながらこの時点で農業体験の希望はなかったそうです）。それを元に、11月20日、町内のガソリンスタンドやレストラン、文具店などで3年生のみなさんが、仕事体験をしました。生徒からは、「楽しかった」「お店の人たちの大変さが少しはわかった」という感想が聞かれました。

九重町図書館でも4人のみなさんが、本の整理や貸出を体験しました。普段とは違う雰囲気や少々戸惑い気味でしたが、テキパキと仕事をこなしていました。その4人のみなさんに、おすすめの図書を紹介してもらいました。これも図書館の大事な仕事の一つです。

「オススメ本の紹介」 ぜひ、この本を手にとってみてください。



高倉 隆太くん紹介本

本の書名（加藤 淳の本）

著者名（加藤 淳）

この本を書いた人は「さんまのスーパーからくりTV」というテレビに出た人です。

番組の中では、おなやみバビリオンという企画の中で相手の悩みを聞いてその悩みを解決していくという内容で、その中でもおもしろい発言をしています。この本の中でも色々なおもしろいことを書いてあるので、ぜひ読んでみてください。



田辺 千鶴さん紹介本

本の書名（冷静と情熱のあいだ）

著者名（江國 香織、辻 仁成）

最初に「冷静と情熱のあいだ」を知ったのは、本ではなく映画でした。フィレンツェ、日本そしてミラノ。美しい建物、美しい絵画。とても綺麗な映画でした。小説では、江國香織さんが女性側で辻仁成さんが男性側で、それぞれの気持ちになり話を進めていきます。本では、映像で表現できない美しさを文をたくみにつかって表現しているところも魅力の一つです。ぜひ読んでみてください。



佐藤 大地くん紹介本

本の書名（TVチャンピオンへの道）

著者名（テレビ東京編）

この本は、テレビ番組のTVチャンピオンのチャンピオン20人の知恵や知識がびっしり詰まっています。あと、TVチャンピオンの優勝者の人たちが、それぞれオススメの店やスポット商品などを紹介してくれています。

この本では、20人のチャンピオンたちによる、極めて面白い話が聞けます。

おもしろいと思うので一度読んでみてください。



横原 真麻さん紹介本

本の書名（我慢にも限度がある）

著者名（須永 博士）

この本には私の好きな詩がたくさんはいつています。その中の一つを紹介します。「反発せよ、人のいいなりになるな、やるんだったら相手の度肝を抜くぐらいやれ！」という詩です。私は中でもこの詩が好きです。他にもいろいろな詩がたくさん詰まっています。

きっとあなたにも「あ、これいいなあ」と思う詩がたくさんあると思います。

第29回 話し方大会

阿部佳奈子さん（東小）が 最優秀賞

11月14日、玖珠町わらべの館で行われた第29回県話し方大会で東飯田小学校1年生・阿部佳奈子さん（下豆4）が、最優秀賞にあたる久留島賞を受賞しました。

佳奈子さんがこの日発表したお話は「うんどうかいのスター」。先生が選んでくれたもので、佳奈子さんも大好きな話です。受賞の感想を聞いてみると、「いちばん最後に呼ばれたから、一番悪い賞と思った」そうです。賞状を持ち帰り、一番いい賞をもらったことをお母さんから教えてもらい、テレビで自分の名前が出たときに初めて受賞を実感しました。お母さんの美喜さんによると、1歳半くらいから、通信販売で毎月本が届くサービスを利用しており、良く読み聞かせをしていたそうです。そんなこともあり、佳奈子さんは、本が大好きに。受賞を聞いた美喜さんは、「やっぱりうれしかったですねー。通販の本は、そろそろやめようかと思っていたけど、やめられなくなりました」と笑っていました。

美喜さんは、大会出席に向けての練習も一緒にしました。お父さんの征則さんは、仕事が忙しく、毎日夜遅いため佳奈子さんの朗読を聞く機会がありませんでした。その征則さん、初めて郡の大会で佳奈子さんの朗読を聞いたときは、感動で涙が出たそうです。佳奈子さんには、2人の妹がいますが、このふたりもお姉ちゃんのように本好きな子どもに育って

ます。

こんなあったかい家庭で育っている佳奈子さん、将来の夢は、花屋さんかアナウンサー。

夢に向かってしっかりがんばってください。



武石涼太郎君（港小）に NHK大分放送局長賞

第29回県話し方大会では、港小学校6年生武石涼太郎君（生竜）も受賞しました（NHK大分放送局長賞）。

武石君は、「高齢者との交流を通して」という作文を発表。

亀鶴園での入所者との交流をきっかけに、武石君のお母さんの働いているデイサービスセンターでのボランティアを体験。一人ひとりが年齢、性格、体の調子、好みが違うことに気づき、この仕事の大変さを実感します。そして高齢者がたくさん知恵を持っていることに驚き、教えてもらうことの喜びを知り、高齢者福祉についても考えていきたいという内容でした。

将来は先生になりたいという武石君、話し方大会は、「県に行くとは思わなかったの、とてもびっくりしました」と話していました。

まちの話 題

親子で夢と冒険
～ピーターパンとウエンディ～

11月15日、九重文化センターでミュージカル「ピーターパンとウエンディ」がありました。当日は、会場いっぱい親子であふれ、ステージ上で繰り広げられる夢と冒険に一緒にハラハラドキドキしていました。

実行委員長の麻生露さん（川東下）は、「昔のように親子が一緒に楽しむ機会が少なくなったような気がします。親は親、子どもは子ども、といった意識になっちゃったように思えます。こんなとき、親子のふれあいの場をこのように提供していくか、試行錯誤しています。こちらからも伝え続けていけば、必ず共鳴してもらえるものがあると思っています。今後も活動を続けていきたいです」と話していました。

親子ふれあい劇場は、今回のような大きな催し物のほか、各地区で行う小規模のふれあいの場を提供していく予定です。



まちの話 題

梅と童話

福岡県太宰府市を拠点に童話を歌い続けている岩崎紀代子さん（写真）が豊原天満宮を訪れ、記念植樹などを行いました。今年3月2日に豊原天満宮と太宰府天満宮への飛び梅の奉納が実現した際、岩崎さんが橋渡し役になったのがきっかけで、今回の来訪となりました。

この日は、岩崎さんが先生として指導している大野城市の童謡サークル「赤い鳥」のみなさん35名、地元から、豊原天満宮の総代と老人クラブ会長が参加。

まず、神主さんによるお祓いがあつた後、梅の木之本を植樹。最後に赤い鳥のみなさんの合唱で童謡「もみじ」を奉納しました。

「梅の生長とともに人の交流が深まれば、と思います。童謡の持つさわやかさと一緒に九重を盛り上げていきたいですね」と岩崎さんは話していました。

一方、地元のみなさんも、岩崎さんたちとの交流を考えていきたいと話していました。

岩崎さんは、童謡も作るそうです。その数二三〇曲。「今日の経験をもとに、新しい歌が書けそうです。」岩崎さんはそう話していました。



▲岩崎紀代子さん



まちの話 題

感動の滝紅葉祭り



▲写真1

感動の滝は、日本の滝100選に選ばれ、西日本屈指の滝と謳われています。その感動の滝で、今年で11回目となる紅葉祭りが11月3日に行われました。当日は、まさに紅葉真っ盛り、多くの観光客が訪れ、絶景を楽しみました。祭りでは、まず、訪れる人たちの安全を祈願し、神事が行われました。続けて行われた式典で、坂本町長は、「開創10年、開創100年、開創1000年」という言葉を引用、この地域の自然をいつまでも守ってほしいとあいさつしました。この日は、1年に1度だけの滝まで徒歩道が開放される日でもあります（写真1）。「滝巡りアドベンチャー大会」と名付けられたこの催し、当日は、あいにくの天候で午前中のみでしたが、400人が参加、滝までの冒険を楽しみました。

「今までいろいろな滝を見てきたけど、この滝が最高」。

取材からの帰途、観光で訪れた女性が話しているのを耳にしました。

まちの話題

南山田同級生ゴルフ大会が
小学校へ本などを寄附

南山田地区のみなさんで年に2回行われている同級生対抗ゴルフ大会、この大会は、これまで6回開催していますが、全員から集めた参加料の一部を元に町内の福祉施設や学校に寄附を行っています。今年は、南山田、准團の両小学校に本などの寄附を行いました。

このうち、准團小学校では、授与式が11月24日に行われました。同学校で取り組まれている親子読書活動にちなんで、50冊の本を寄附しました。

また、南山田小学校へは、長机7脚を寄附しました。



▲南小での授与式



▲准小での授与式より、左はしが会長の宇田光晴さん

まちの話題

がんばっているとき、すごかった
南山田小学校文化祭

今年で27回目になる南山田小学校文化祭が11月10日に行われました。

この文化祭は、子ども達だけでなく、親たちの趣向をこらした出し物があることで、毎回楽しみにしている人が多いようです。

今年も、午前中の子ども達の出し物に続き、午後はいよいよ親たちの出し物です。ダンスあり、劇あり、演奏あり。ステージ上を駆け回っていました。その姿を見て子ども達は大喜び、そして何よりも、ステージ上のみなさんの、恥ずかしいけれど大変うれしそうなお姿が印象的でした。

「お母さん、がんばっているとき、すごかった」ある生徒の声です。

親たちから子ども達へ、そして子ども達から親たちへ素敵な贈り物のようない日でした。



◀先生たちによる出し物。大型ならぬ、おおかた時代劇「お殿様のおみやげ」。

▼引治地区PTAのみなさんによる「テーマソングでダンシング」から。アニメのキャラクターになりました。



交通安全

平成14年町内地区別交通事故発生状況(累計、地区)

地区別	人身事故		物損事故		件数計
	死者	負傷者	件数	事故	
東飯田	0	19	10	32	42
野上	1	35	20	74	94
飯田	0	68	35	185	220
南山田	0	31	16	59	75
計	1	153	81	350	431

(平成14年11月末現在)

まちの話題

トイレ掃除を通じて心を育てる

11月17日の夜明け、シンと冷える野上中学校のトイレで一心に掃除をしている人たちがいました。珍珠掃除に学ぶ会の珍珠支部とこの中学校のPTAのみなさんです。

掃除に学ぶ会は、トイレ掃除を通じ、心を磨き、感謝と謙虚の気持ちを育てることを趣旨に活動を行っている団体で、全国で22カ所あります。珍珠地区もその一つで、約60名のみなさんが毎月1回、学校もしくは公共施設のトイレを回って活動を行っています。

この会の行う掃除は紙ヤスリを使って便器を磨くなど徹底しており、この日も約2時間の作業で心もすっかり磨かれたようです。もちろんトイレも、見違えるように美しくなっていました。



大学卒業予定者等就職面接会

日時 平成15年1月10日(金)10:30~15:00
場所 トキハ会館(大分市府内町)
対象学生 平成15年3月大学・大学院・短大・高专・専修学校卒業予定者
 (平成14年3月既卒者を含みます)
 参加される学生の皆さんは、履歴書を持参のうえ、直接お越しください。
問い合わせ先(企業申込)
 ワークプラザおおいだ ☎ 097-533-8600

平成14年医療関係届出等について

日本国内に住む医療関係免許を持っている方は、2年ごとに氏名、住所等届出票に記載されている事項を、届出ることになっており、本年度はその届出の年にあたります。

対象者 医師・歯科医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士

内容 平成14年12月31日現在の状況を、平成15年1月15日までに、保健所(玖珠支所を含む)まで、提出して下さい。

届出票は、各医療機関等にて配布します。なお、現在就労されていない方も、届出票を提出することになっていますので、届出票がお手元にない場合には保健所(玖珠支所を含む)までお問い合わせください。

その他 届出票は主たる従業先のもの1枚だけを提出してください(重複提出は行わないでください)。

お問い合わせ先
 日田玖珠保健所玖珠支所 総務衛生課 阿部 ☎ 72-1150
 日田玖珠保健所 総務企画課 伊東 ☎ 0973-23-3133

県立富学校高等部生徒募集

教育内容 普通教育、職業(あんま・はり・きゅう)教育
出願資格 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の人、又は視機能障害が高度なうち、拡大鏡等によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の人。(年齢制限なし)
募集学科 本科普通科(中卒者対象)、本科保健医療科(中卒中途失業者対象)、専攻科保健医療科・専攻科理療科(高卒者対象)
出願期間 2月12日(水)~18日(火)
面接・適性検査 2月25日(火)
学力検査 3月5日(水)
願書請求先・問い合わせ先 県立富学校教務係
 〒870-0026 大分市金池町3丁目1番75号
 TEL.097-532-2638、FAX.097-532-2636へ。

調理師の皆様へ

働いている調理師は2年に一度、就業届を出すことになっており、今年度は、届出の年となっています。

届出の必要な調理師

- ①給食施設 寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人福祉施設、矯正施設
- ②営業施設 飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業、その他営業施設

平成14年12月31日現在の状況を、平成15年1月15日までに就業地を管轄する保健所に届け出て下さい。届出用紙は、保健所にあります。

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
 日田玖珠保健所玖珠支所 総務衛生課 阿部 ☎ 72-1150
 日田玖珠保健所 総務企画課 伊東 ☎ 0973-23-3133

国民年金からの大切なお知らせ

平成14年4月から、国民年金保険料は、国に直接納めるようになりました。

このことに伴い、市町村役場で、国民年金保険料の「納入証明書」を発行することが出来なくなりました。

国民年金保険料は「社会保険料控除」の対象になります。確定申告及び年末調整の際には、国民年金保険料の領収証書や振替口座の通帳等で、年間支払額を確認して下さい。

ご不明な点がございましたら、大分社会保険事務局日田事務所国民年金課(☎ 0973-22-6174)へお問い合わせください。

留意点は次の3つです!

- ①確定申告及び年末調整には、領収証書や振替口座の通帳等を提示してください。(納入証明書の提出は必要ありません。)
- ②市町村役場、社会保険事務所で納入証明書は発行されません。
- ③国民年金保険料の領収証書は、再発行できませんので大切に保管してください。

平成15年度自治医科大学入学者募集

へき地医療に意欲を持って取り組もうとする医師希望者募集

受験資格 高校を卒業した人及び平成15年3月卒業見込みの人またはこれと同等以上の学力があると認められる人

願書受付期間 平成15年1月6日(月)~1月22日(水)
 郵送の場合は、1月21日の消印分まで有効
 第1次試験日 平成15年1月28日(火)、29日(水)

願書申し込み及び問い合わせ先
 〒870-8501 大分市大手町3-1-1
 大分県福祉保健部医務薬事課地域医療係
 ☎ 097-536-1111 内線2646

溶接技術者評価試験

試験日 平成15年3月8日(土)、9日(日)のどちらか1日
試験会場 大分職業能力開発促進センター
 (大分市皆春 ☎ 097-522-2171)
申込書受付 平成15年1月7日(火)~1月16日(木)
 郵送の場合は、この期間必着
申し込み及び詳細についての問い合わせ先
 〒870-1117 大分市高江西1丁目4361-10(大分県産業科学技術センター内)
 (社)日本溶接協会大分県支部 ☎ 097-596-7010

平成15年度入校生募集案内

大分県立日田高等技術専門校

科目・内容・定員

科目	内容	定員	対象者
情報ビジネス科	コンピュータの基礎知識と応用技術及びワープロ簿記、会計等の事務処理	20名	高卒程度以上(年齢:18歳以上) 離転職者
建築科	木造建築の基礎から棟上げ、造作その他各種仕上げ工法の実技を中心	20名	中卒程度以上(年齢:15歳以上) 離転職者
造園科	庭園及び公園の築造を中心に緑地管理、樹木の剪定、花卉園芸及び盆栽等	20名	中卒程度以上(年齢:18歳以上) 離転職者

期間 1年間 入校:平成15年4月10日(木)
修了:平成16年3月12日(金)

特典 ①授業料は一切無料です。
(但し、入校時に教科書等の実費は必要です。)
②雇用保険受給者は、修了日まで雇用保険が受給できます。
③経済的理由により受講が困難な方には、技能者育成資金の貸付制度があります。

募集日程

- ①募集期間 平成15年1月6日(月)～1月31日(金)
- ②入校試験 平成15年2月12日(水)
- ③合格発表 平成15年2月14日(金)

問い合わせ先(願書提出先)

- ①大分県立日田高等技術専門校
(日田市朝日ヶ丘576-10) ☎ 0973-22-0789
- ②日田公共職業安定所
(日田市淡窓1-43-1) ☎ 0973-22-8689

家屋(固定資産課税対象物件)の 取り壊しをされた方へ

固定資産税(家屋)については、毎年1月1日(賦課期日)現在において存在する家屋に対して課税が行われるしくみになっています。

したがって、平成14年中に家屋の取り壊しをされた場合(平成15年1月1日までに滅失登記を行った場合を除く。)は、平成15年1月31日までに九重町役場税務課資産税係まで届出をしてお下され。

取り壊しの届出がなされないとそのまま引き続き課税対象物件として課税される場合があります。

届出の様式及び問い合わせ先
九重町役場税務課資産税係
☎ 76-3803 (直通)



平成15年度 大分県職員(職業訓練指導員)の募集

採用予定 大分県職業訓練指導員 建築・造園 各1名
願書締切 平成15年1月6日(月)必着
選考日時 1次選考 平成15年1月19日(日)
書類審査及び実技審査
2次選考 平成15年2月3日(月)
面接(1次選考合格者のみ)
採用時期 平成15年4月1日以降
問い合わせ先 大分市大手町3-1-1
大分県商工労働観光部労政能力開発課
☎ 097-536-1111 内線3328・3329

平成15年1月1日現在に償却資産 (固定資産税の課税対象)をお持ちの方は、 申告が必要です。

会社や個人で工場や商店などを経営しておられる方が、その事業のために用いることができる機械・器具・備品等の有形固定資産を償却資産といいます。

その内容を例示しますと、①構造物(煙突、鉄塔、舗装工事など)、②機械及び装置(旋盤、ポンプなど)、③船舶、④航空機、⑤車両及び運搬具、⑥工具、器具、備品(測定工具、机、いす、ロッカーなど)などの事業用資産です。

ただし、取得価格20万円未満又は耐用年数1年未満の償却資産は原則として課税対象とはなりません。

このような事業資産をお持ちの方は、平成15年1月1日現在の資産所有状況(資産の種類、取得価格、取得時期、耐用年数など)を平成15年1月31日までに役場税務課まで申告していただくことになっています。

申告書の備え付け場所及び問い合わせ先

九重町役場税務課資産税係
☎ 76-3803 (直通)

大分県勤労者創作美術展(労美展)作品募集

とき 平成15年2月27日(木)～3月2日(日)
午前9時～午後5時(入場は午後4時半まで、
最終日は午後2時半まで)

ところ 大分県立芸術会館
募集作品 絵画・書道・写真・彫刻・工芸・デザイン・イラスト ※テーマは自由

対象者 県内に職場または住所を有する勤労者
申込方法 平成15年2月12日(水)までに県日田地方振興局労政課にお申し込みください。
※作品は別途、平成15年2月20日(木)に搬入していただきます。
出品料 1,500円(作品搬入時に納入)
大分県日田地方振興局 ☎ 0973-23-2673

今月の 年金相談

日時 12月25日(水)10:00～15:00
場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税 納期限1月6日

【国民健康保険税】 12月分
【固定資産税】 第4期

人権 心の扉

110.99

一ふたつの言葉ー

一八七一年、解放令の布告にもかかわらず、偏見と差別が公然とあるいは隠微に続く状況の中で、自らの行動によって解放を勝ち取ろうという運動が創立し、結成されました。それが「全国水平社」です。

私は、以前、この時に読み上げられた「宣言文」は世界の人権宣言であり、解放の原理そのものであるということを伺ったことがあります。それは本文中「人間」という言葉を使いながら、「人間の何が尊ばれ、人間の何が否定されるべきか」がそこに示され、その二つの関係から「人の世の

熱と光」を求めるプロセスを明らかにしていることです。まず肯定的な意味として「人間を尊敬すること」「誇り得る人間の血」「人間が神にかわろうとする時代」

同和問題を 通して

社会人権・同和教育指導員
高 藤 英 利

間を勧めることが何であるか」という六つの言葉が引用されています。

そして共に尊敬されるべき人間への目覚めを促しながら、次のような基本姿勢が表明されています。

「我々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行為によつて、祖先を辱め人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を勧める事が何であるかをよく知っている吾々は、心から人の世の熱と光を願求し、讃するものである。水平社は、かくして生まれた。人の世に熱あれ、人間に光りあれ」

私は、この言葉を読むたびに人間であることの悲しみと、それ故に尊い存在であることに気づかされて胸が熱くなります。

21世紀が人権の世紀として、その中心的課題でもある「それぞれの差異を認め合う」視座を展き得るのは、私たちがこの「水平社宣言」の前に、襟を正していくのではないかと思います。

＝平成14年12月・15年1月休日当番＝

月	日	医療機関名	住 所	電 話
12月	29日	三池徳理内科医院	塚 田	72-6101
		友成(町田)医院	町 田	78-8811
	30日	玖 珠 記 念 病 院	塚 田	72-1127
	31日	井 上 医 院	恵 良	76-2711
1月		北山田クリニック	北 山 田	73-2030
	1日	友成(産婦人科)医院	塚 田	72-0330
		武 田 病 院	森	72-0170
	2日	小 中 病 院	塚 田	72-2167
		飯田高原診療所	飯 田	79-2138
	3日	後藤内科医院	昭 和 町	72-0676
		矢 原 医 院	野 上	77-6121
	5日	高 田 病 院	春日町	72-2135
	12日	長内科小児科同済科医院	春日町	72-2143
		麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100
	13日	三池徳理内科医院	塚 田	72-6101
		友成(町田)医院	町 田	78-8811
	19日	玖 珠 記 念 病 院	塚 田	72-1127

月	日	医療機関名	住 所	電 話
12月	29日	酒 井 歯 科 医 院	日田市	0973-23-6480
	30日	村 山 歯 科 医 院	日田市	0973-22-3303
	31日	(日田)井上歯科医院	日田市	0973-22-3305
1月	1日	高田ビル歯科医院	日田市	0973-22-2317
	2日	伊 藤 歯 科 医 院	日田市	0973-24-5700
	3日	はたの歯科医院	日田市	0973-22-7736
	5日	是 永 歯 科 医 院	玖珠町	72-1020
	12日	内 川 歯 科 医 院	日田市	0973-22-0320
	13日	武 内 歯 科 医 院	日田市	0973-22-3034
	19日	(玖珠)相良歯科医院	玖珠町	72-0214

月	日	獣医師名	電 話
12月	23日・30日	佐 藤 獣 医	77-6448
1月	2日・5日・12日・19日		
12月	21日・28日	山 本 獣 医	78-9101
1月	1日・3日・11日・18日		
12月	22日・29日・31日	鶴 長 獣 医	77-6620
1月	4日		
12月		甲 斐 獣 医	76-3324
1月	13日・25日		

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎ 3409
休日当番の電話番号(携帯)は090-5721-8191

月	日	店 名	月	日	店 名
12月	22日	森 石 油	1月	5日	小 幡 石 油
	29日	自 由 営 業		12日	河 野 石 油
				19日	竹 尾 石 油

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は119番 ☎ 72-2141 ● 火災の確認は ☎ 72-5100

歳時記

季題

1月号

「雪」「日向ぼた」

「初電話」

(12月20日締切)

締切がいつもより早くになります。
ご注意ください。

2月号

「目脚伸ぶ」

「まんざく」「余寒」

(1月24日締切)

今月の季題

「落葉掻」「年の暮」

また元へ風が戻して落葉掻
落葉掻く砂利のひびきや枯山水
猫だけはのんびり昼寝年の暮
風しずか孫が手伝う落葉掻き
落葉掻掃く一葉に風の音
雑木木の木の葉まいちる落葉掻
坪庭の風の持て来る落葉掻
年の暮庭師の鉄音高し
年の暮父母十七回忌法要す
初孫や産声高く年の暮
年の暮交通安全よびかけて
年の暮季節はずれの黄砂かな
退院で我が家にかえる年の暮
来合わせし子の手を借りて年の暮
亡き父を十才越えし年暮る、

「また元へ風が戻して落葉掻く」よくある事を句にしたのが面白い。「落葉掻く砂利のひびきや枯山水」落葉掻を砂利のひびきで感じたところが妙。「猫だけはのんびり昼寝年の暮」人間の忙しさと猫の長閑さの対比が妙。三句とも理屈がなく、感性の閃きがある。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係までご応募を。

清竹 勇蔵
的場 律枝
赤峰 幸子
玉井多喜子
原田 勝子
佐保 達子
小野十三日
井上 マキ
穴井久美子
藤澤 節子
小野ミツノ
湯浅加代子
佐藤 元八
甲斐 和子
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 107

町村合併～九重町の誕生まで②

文化財調査員 甲斐素純

明治維新を迎え、慶応4（1868）年閏4月25日、九重町域を含めた日田・玖珠・下毛の旧幕府領は「日田県」（県知事は松方助左衛門正義、のち総理大臣となる）になり、明治4年11月14日からは、「大分県」（参事森下景福）となった。

が、第三小区には右田・上垣・下垣・恵良・見良津・松木・辻・書曲村が所属した（四区と七区は、現玖珠町）。各郡を大区とし、その下に小区を置き小区は複数の町村からなり、戸長・副戸長を置いた。明治5年9月27日の大分県に於ける戸籍は、計八大区159小区（17町、1801村）で、戸数は11万9800戸、人口は56万2156人（県治概略）であった。

明治8年3月には小村の統合があり、恵良村・見良津村が一つになって恵良村となり、松木村・辻村（竜門・前辻・後辻）・書曲村が合併して松木村となり、右田村・上垣村・下垣村が合わさって右田村となり、引治村・小引治村・木納水村が合併して引治村となった。つまり近隣の大村が小村を吸収合併して、大村の村名が残った。また残りの村々（栗野・菅原・町田・湯坪・田野・野上・後野上各村）は合併をせずに、そのまま残って村政を続けた（この時大分県下は、8町792村に統合された）。



▲旧松木村の中心(現在)

弔慰

お悔やみ申し上げます

おなまえ	年齢	行政区
有古 敬江	88	北方下
友松 一美	68	川下南
帆足 立枝	90	川西一
日野 元卯	77	鹿伏
石田 金吾	81	下旦五
日野 フサノ	88	小久保
高野 國香	62	須久保
大野 学	52	岩の上
高橋 義夫	83	中央二
今給 黎一	73	下旦五
玉井 芳子	80	富来口
佐藤 友永	54	後野上
小野 イツエ	92	日向

人の動き

11月1日～11月30日届出分

人口と世帯

人口 11,965 人 (－ 2)
男 5,715 人 (－ 2)
女 6,250 人 (± 0)
世帯 3,878 (－ 3)
() は前月との増減

おめでとうございます

出生

おなまえ	性別	保護者	行政区
戸澤 夢音	女	幸一	麻生約
吉岡 美咲	女	秀之	前辻一
吉光 愛	女	勇逸	桐木三
川部 美月	女	勝太郎	富来口
青井 陸矩	男	雄一	野上住宅
加木 悠	男	達美	北恵良二
河野 麗	男	隆通	野矢

おおいた緑・香り 夢フェスタ03

2003年4月28日(月)～6月29日(日)
会期中のスタッフ及びボランティア募集

	スタッフ	ボランティア
応募資格	平成15年4月1日現在 18歳以上(高校生・大学 生・専門学生不可)。 通勤可能な人。	期間中4日以上参加で きる人。終日参加でき る人。15歳以上の人 (中学生不可)。
応募期間	平成14年12月2日(月)～平成15年2月14日(金)	
活動(勤務)時間	午前9:00～午後5:30	午前9:00～午後4:30
給与等	時給/940円(日給/9,000円) 交通費/一律1,000円	ユニフォームを差し上げ ます。

※両方とも事前研修に全日程参加できる人が対象になります。

詳しい応募内容等のお問い合わせ先

〒870-0029 大分市高砂町4番20号 高砂ビル202

第20回全国都市緑化おおいたフェアプロジェクトルーム

TEL.097-514-3735 FAX.097-538-3084

受付時間 午前9:30～午後5:00(土・日祝日、12/28～1/5を除く)
<http://www.oitayumefesta.jp>

2003年新豊花火大会
第15回 花火・ザ・宝泉寺
1月11日(土) 19時30分スタート
場所：宝泉寺温泉お祭り広場
どんと焼きなどのイベントや甘酒などの
バザーもあります。
九重町観光協会(役場産工観光課内)
☎093150 FAX093808
九重ふるさと館観光案内所
☎05510 FAX05511
くじゅう飯田高原観光案内所
☎02381 FAX02381



九重町ホームページアドレス(URL)<http://www.coara.or.jp/~kokonoe>

町長と語る ふれあいタイム

1月11日
(第2土曜日)
1月25日
(第4土曜日)

1月のお知らせ

午前10時から午後4時まで。
九重町役場で行います。
お気軽においでください。



▲昭和39年頃の有線放送施設(編集後記参照)

編集後記

12月1日付で市外局番が2ケタになりました。その日、気づかなかつたり、とまどつたりした人が多かったと思います。家にもその日2回間違ひ電話がかかりました。自分自身も何回も押し間違ひをしました。そのうち慣れるのでしょうか、なかなか調子が狂います。2ケタになることは、広報でも3回お知らせしましたが、九重町の電話の歴史を取り上げるのも面白かつたかなあ、と思います。●昭和25年当時、九重町の電話は40戸に一台の普及率だったという記録が残っています。34年頃から、地区毎に有線放送が普及、××回線、○番、○番という呼び出しが慣かしい人も多いかと思えます。47年2月に町内全域で自動ダイヤル化。一時、家に「有線」と「黒」の二つの電話があったことも、それ以来ヒトケタの局番がおなじみでした。●ヒトケタの電話番号は、いかにも田舎でかつこわい、と思つてゐる人も多かったと思います。ばくも昔はそうでした。しかし、この頃になつて、「ヒトケタで何がわるい」「田舎で大きいけつこ」と思うようになり、時代は流れ、ただ単に使用回線が多くなつただけのことですが、世の中が都会的なものに統一されるような気がして寂しさというより危機感みたいなものを感じます。都会があったり、田舎があったり田舎があるからこそ、面白いのです。どこの町も同じようなものを作り、同じような表情をした(つまりそれは無表情)ということですが、薄っぺらの地域を作るといふのは、なんと面白くないことでしょうか。それは、市町村合併も同じことが言えます、よね。(竹尾)

町の面積 271.41km² / 町の木 くめぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。R100